

平成 28 年度 明浄学院高等学校 学校評価

1 めざす学校像

校訓である「明く・浄く・直く」の教えに従い、常に誠実な姿勢、協和を尊ぶ心、何事にも勤勉な態度を身を以って実現し、それを生徒達に還元する。私学は、建学の精神に則り、常に最先端の教育を行わなければならない。生徒・保護者には誠実に対応し、教育者としての尊厳を保ち、何事にも決して安易に妥協しない。

(1)多様化する社会に貢献できる自立した女性の育成。
(2)良識ある母親としての地域社会に融和できる女性の育成。

2 中期的目標

- 1 学習指導を徹底し、学力の向上を図る
 - (1)3年間を見通した的確な進路指導による学習意欲の向上
 - (2)主体的な学習者へ転換させるための授業改革の実施
 - (3)体験的な学習を実施し、主体的に自己の将来を考える生徒の育成
- 2 生活指導を徹底させる
 - (1)家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の（挨拶・身だしなみ等）の確立を図るとともに、自己指導力の育成
 - (2)教育相談の充実を図り、生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応
- 3 きめ細やかな進路指導の徹底により、学力適性に応じた進学就職の実現
 - (1)キャリア教育を基盤とした組織的な進路指導の充実
 - (2)校内及び家庭との連携を密にし、個々の進路目標に応じた適切な支援
 - (3)適切で迅速な情報収集を提供に努め、生徒が自ら考える進路指導の充実
- 4 特別活動の推進・強化
 - (1)部活動を更に活性化させ、府・近畿・全国で活躍する部活動の育成
 - (2)地域諸団体との連携により一層強化し、地域スポーツ及び文化の振興に寄与

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 授業評価アンケート 授業の速度や難易度は自分にとって適切である 73% 授業の目標や大切なポイントを説明してくれる 77% 役に立つ資料やプリント又は視聴覚教材などをうまく使っている 71% 声や話し方は聞き取りやすく、説明がわかりやすい 73% 質問したり考えたり、発表する時間をうまく取ってくれる 71% テストの結果だけではなく、日頃の学習の状況を適切に評価してくれる 73%</p> <p>○保護者 有意義な学校生活を送ることができる場として学校が評価されている点は、学校の魅力の中でも強調できる場所である。今後も継続して高い評価が得られるような環境づくりを心掛け、教職員一同取り組んでもらいたい。</p> <p>○教職員 授業アンケートを指導改善に活かす取り組みが必要である。担任教科担当の情報共有を図る場を意識して設け、効果的な指導を工夫していきたい。</p> <p>【分析】 教職員間での建設的な意見交流をしやすい、明るい活発な職場づくりを構築するとともに、学校経営方針の徹底と浸透を図っていかなければならない。また、本校の将来構想に繋げ、さらには取り組みを充実発展させるために、会議等を有効活用し、各種事業の継続と発展を図る必要がある。 アンケート結果や生徒会目安箱等をもとに、次年度以降の学校運営に反映すべき点を活かしていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習理解、学習指導の充実に関わり、教職員がより意欲的に取り組んでほしい。 ・授業改善に向けた取り組みの工夫改善が望まれる。 ・高校生の学習意識を高揚させる取り組みをより充実させてほしい。 ・授業をビデオ等で撮影し検討する。視聴覚機器の授業への活用等、参考になると思われる。 ・授業参観へ参加して生徒一人ひとりが学力の向上と改善に向けた検討と教科指導を期待している。 ・交通機関でのマナーをしっかりと指導してほしい。 ・基本的生活習慣の定着をより図って指導の徹底をしてほしい。 ・教育相談の充実など、今後も家庭や関係機関などと連携し、生徒指導の充実を図ってほしい。 ・特別支援教育へ向けた体制作りを充実整備してほしい。 ・進学へ重視した取り組み及び指導をしてほしい。 ・生徒・保護者とも結果を重視する傾向にあるので、更なる指導の充実にも努めてもらいたい。 ・伝統行事である家隆忌・芭蕉忌・和歌披講会のPRをもっとすればよい。 ・学校の文化祭・体育大会にたくさんの保護者・卒業生・近隣の方々が来校されるのは、それだけ魅力的だからと思う。このような素晴らしい学校に通っている生徒自身が誇りに思える学校になっていると思う。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学力の向上	<p>(1) 個に応じた学習指導の充実 ア 授業における指導体制を確立する。 イ 自ら学習する態度を育成する。</p> <p>(2) 生徒主体の授業改革の実施 ア 指導と評価の一体化を図り、教科・科目の目標の達成に向けた授業改善を努める。 イ 法令や生徒の実態を踏まえた教育課程の改善</p>	<p>(1)ア 指導方法や評価方法を工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する イ 生徒の計画的な学習を考えた課題提示に努め、自主的・意欲的な学習を喚起するよう努める。</p> <p>(2)ア 教科指導の振り返りと授業点検をし、各教科の公開授業を積極的に進める。 イ 各コースにおける生徒の興味関心等に対応した特色ある教育課程を編成する。</p>	<p>(1)ア 授業参観1.2学期に各1回 授業アンケート満足度75%以上 イ 学習の記録(特進・看護コースのみ)による課題の状況及び日々の日常学習の把握する。</p> <p>(2)ア 公開授業各教科最低1回実施 研修会参加への奨励 イ 教育課程の編成</p>	<p>(1)ア 授業参観1学期に1回実施。(×) 授業アンケート満足度73%。(×) イ 学習の記録の提出状況80%以上であるので、ほぼ達成。(○) ただ、学力の向上のためには、毎日の質の良い学習習慣が重要であり、細やかな声掛けや、やる気を引き出す仕掛けなどが重要である。今後普通コースへの展開の必要性。</p> <p>(2)ア 公開授業各教科1～2回実施。(○) 様々な研修会、実践講座に参加している教員も見受けられた。(△) イ 教育課程については、現行のものが生徒の希望進路に即した効果的なものであるか見直しを計るとともに、平成30年度入学生の教育課程について研究検討を進めた。(○)</p>
生活指導	<p>(1) 基本的生活習慣の確立 ・ 家庭との連携を密にし、基本的生活習慣の(挨拶・身だしなみ等)の確立を図るとともに、自己指導力の育成に努める。</p> <p>(2) 道徳教育の推進 ア 教育相談の充実を図り、生徒理解に努める。 イ 問題行動の早期発見・早期対応に努める。</p>	<p>(1) 立番指導や登下校時の指導週間と連動した安全登校や挨拶・身だしなみの指導を展開するし、効率化と効果向上を図る。</p> <p>(2)ア 道徳教育を推進し、人間として調和のとれた生徒を育成する。 ・ 全教職員、教育相談ができるよう研修の場を設ける。 イ いじめに関するアンケートの定期的な実施や多面的指導によるいじめの深刻化の抑制</p>	<p>(1) 遅刻者数の統計調査により前年度比10%減少を図る。 登下校指導各学期1回実施 自転車安全講習会1回実施 薬物乱用防止講演会1回実施</p> <p>(2)ア 各学年の人権学習(講演・映画等)を最低2回実施 教職員研修会1回実施</p> <p>イ いじめアンケート1.2学期に各1回実施</p>	<p>(1) 登下校指導や遅刻指導を継続的に実施し、遅刻者数は10%減。(○) 登下校指導各学期1回実施(○) 自転車安全講習会1回実施(○) 薬物乱用防止講演会1回実施(○) 交通安全知識やマナーの向上に努め、教科・担任・生活指導部との連携を図りたい。</p> <p>(2)ア 各学年とも1・2学期に人権学習を実施し学校の実態に即した人権学習が実施された。(○) 教職員研修会1回実施(○) イ アンケート1.2学期に各1回実施(○) 各学年の人権担当や教科と連携し、各学年の課題について共通理解を図り人権教育に反映させた。</p>
進路指導	<p>(1) 生涯を見通した的確な進路指導 ア 進路選択に向けた活動を企画・運営する。 イ キャリア教育を基盤とした組織的な進路指導の充実に努める。</p> <p>(2) 希望進路実現のための学力の充実と向上</p>	<p>(1)ア 3年間の系統的な進路指導計画を策定し、適切な時期に進路別ガイダンスや情報提供、講習や面接指導などを行うことにより、進路意識の向上を図る。 イ あらゆる機会を捉えて、生徒の人間力、将来の社会人としてのマナー向上を図る。</p> <p>(2) 模試や検定の受験に向けた意識の一層の高揚(事前・事後指導を徹底する)</p>	<p>(1)ア 各学年の進路ガイダンス 面接対策講座(3年生) 予備校講習(特進コース) オープンキャンパスへの参加啓蒙 イ マナー講演や職業人講演実施</p> <p>(2) 実力テスト 小論文テスト 模試分析の充実 進路指導室利用促進</p>	<p>(1)ア ガイダンス・講座数回実施(○) オープンキャンパスへの参加啓蒙(△) 視野を広げ選択肢の幅を広げるという点では課題が残る。 イ マナー講演(○) 職業人講演(×) 外部機関と連携し更なる職業観・勤労観の育成に努めていく。</p> <p>(2) 実力テスト・小論文テスト数回実施(○) ・ 模試データの分析・活用という点においては、更なる工夫が必要である。(△) 進路指導室利用については不十分(×)</p>
特別活動	<p>(1) 部活動の充実 ・ 部活動を更に活性化させ、府・近畿・全国で活躍する部活動を育成する。</p> <p>(2) 地域との連携 ・ 地域諸団体との連携により文化の振興に寄与する。</p>	<p>(1) 部活動の条件整備を進め、各部の活動の活性化を図るとともに競技力や技量の向上に努める。 (2) 地域との交流を継続的に実践し、人間力を育むキャリア教育の一翼を担う。また、ボランティア活動など、地域への貢献・地域に寄与する学校としての取り組みを充実させる。</p>	<p>(1) 文化部及び運動部の各種大会の上位大会への出場</p> <p>(2) ボランティア活動への参加 学校周辺の清掃活動の実施</p>	<p>(1) 吹奏楽部全国大会出場及びバスケットボール部近畿大会出場(○)</p> <p>(2) ユネスコ部や看護コースでのボランティア活動への参加が各2回(○) 2.3学年による地域清掃活動を学期継続的に実施した。(○)</p>

